

2021年度 研究センター事業報告書

| | |
|---------|----------------|
| 研究センター名 | 加藤周一現代思想研究センター |
|---------|----------------|

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

① 資料研究の成果

2021年度は加藤周一手稿ノートのデジタルアーカイブ化として以下の成果があった。

「Japanische Literatur [Modern] 近代作家」「近代日本文学 Notes」「齋藤茂吉」「le Phénomène」「正宗白鳥」「1978 AVRIL 中国」以上7冊。これにより、加藤周一『日本文学史序説』の準備過程などを明らかにすることができた。

② 研究成果の展示

2021年度は東京女子大学丸山眞男研究センターとの提携で共同企画展示「知識人の自己形成—丸山眞男・加藤周一の出生から敗戦まで」をパネル展示とWEBによる公開で5月9日～6月12日まで衣笠平井嘉一郎図書館で展示した。これにより、戦後を代表する両知識人の自己形成過程について研究内容を公開することができた。

立命館大学図書館との共催企画展「署名入り献呈本にみる『加藤周一』の交友—東大仏文研究室とマチネ・ポエティックを中心に—」を6月1日～12月20日まで各キャンパス図書館で開催した。

③ 研究会

2021年5月29日「『加藤周一を21世紀に引き継ぐために』合評会」をオンライン上で開催した（視聴参加者約200名）。これにより、2020年に刊行された『加藤周一を21世紀に引き継ぐために』の内容について研究者間で意見交換をすることができた。合評会の記録は2022年3月に冊子として刊行した。また11回の「加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む」を開催した。

④ 講演会

第5回加藤周一記念講演会として以下の内容の講演会を開催した。

日時:2021年7月10日 題目「加藤周一と建築」 講師:隈研吾氏(建築家、東京大学教授) 場所:以学館1号ホール 参加人数:対面162名、オンライン282名。

⑤ 論文

本研究センターの活動と密接に関わる研究として、研究員の半田侑子氏が以下の論文を発表した。

半田侑子「『日本文化の雑種性』の成立について」『人文科学研究所紀要』129号 立命館大学人文科学研究所 2021年12月刊行。これにより、加藤周一文庫での資料研究に基づき、「日本文化の雑種性」の成立過程を示すことができた。

⑥ 研究発表

研究顧問の鷺巣力氏、研究員の半田侑子氏が以下の研究発表を行なった。

鷺巣力「壮大な挑戦と平俗な蹉跎—加藤周一の見た横光利一」横光利一文学研究会 2022年3月26日 立命館大学図書館カンファレンスルーム。

半田侑子「『レトリックの戦場』と『青春ノート』」加藤周一おしゃべりの会／羊の談話室(仮称)2022年1月26日 オンライン(Zoom)

⑦ 外部資金獲得

科学研究費補助金(挑戦的<萌芽>研究)採択 主題「身振り言語に見る日本の知識人—加藤周一、丸山眞男、鶴見俊輔を例に」 期間:2021年度～2023年度 基金:直接経費480万円、間接経費144万円。

以上のように、研究成果の発信、研究会、講演会、論文、発表、学外資金の獲得において、充実した活動を行うことができた。

II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2022年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

| 役割 | 氏名 | 所属 | 職位 | |
|-----------------------|---|------------------|-----------------|----------|
| センター長 | 加國 尚志 | 文学部 | 教授 | |
| 運営委員 | 鷺巣 力 | 衣笠総合研究機構 | 研究顧問 | |
| | 小関 素明 | 文学部 | 教授 | |
| | 岡本 雅史 | 文学部 | 教授 | |
| | 西岡 亜紀 | 文学部 | 教授 | |
| | 北村 順生 | 映像学部 | 准教授 | |
| 学内教員 (専任教員、研究系教員等) | 中川 成美 | 文学部 | 特任教授 | |
| | 根津 朝彦 | 産業社会学部 | 准教授 | |
| | 福間 良明 | 産業社会学部 | 教授 | |
| | 住田 翔子 | 産業社会学部 | 准教授 | |
| 学内の若手研究者 | 専門研究員 研究員 初任研究員 | 半田 侑子 | 衣笠総合研究機構 研究員 | |
| | 補助研究員・リサーチアシスタント | | | |
| | 大学院生 | 西澤 忠志 | 先端総合学術研究科 | 一貫制博士課程 |
| | | 福井 優 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | | 狩野 晃一 | 文学研究科 | 博士課程前期課程 |
| | | 落合 優翼 | 文学研究科 | 博士課程後期課程 |
| | 学振特別研究員 (PD・RPD) | | | |
| | その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等) | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| 客員協力研究員 | 彭 佳紅 | 帝塚山学院大学 | 生涯学習センター長 | |
| | ジュリー・ブロック | 京都工芸繊維大学 | 教授 | |
| | 桜井 均 | 大阪経済法科大学 | 客員教授 | |
| | 川口 雄一 | 東京女子大学 | 臨時職員 | |
| | 龍澤 武 | 東アジア出版人会議 | 理事 | |
| | 樋口 陽一 | 東京大学 | 名誉教授 | |
| | 三浦 信孝 | 日仏会館 | 副理事長 | |
| | 石塚 純一 | 法政大学大学院専修大学文学部 | 非常勤講師 | |
| | 宮村 治雄 | 成蹊大学アジア太平洋研究センター | 客員研究員 | |

| | | | |
|---------------------------------------|-------|--------------|----------|
| | 片岡 大右 | 慶應義塾大学商学部 | 非常勤講師 |
| | 落合 勝人 | 株式会社集英社新書編集部 | 編集長 |
| | 李 成市 | 早稲田大学文学学術院 | 教授 |
| | 山口 智也 | 日本放送協会制作局 | ディレクター |
| | 金子 元 | 秀明大学 | 非常勤講師 |
| | 山辺 春彦 | 東京女子大学 | 特任講師 |
| | 孫歌 | 中国社会科学院文学研究所 | 研究員 |
| | 王中忱 | 清華大学中国語文学系 | 教授 |
| | 林慶澤 | 韓国国立全北大学校 | 教授 |
| | 翁家慧 | 北京大学 | 教授 |
| その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等) | 野口 雅弘 | 成蹊大学 | 教授 |
| | 富山 仁貴 | 日本学術振興会 | 特別研究員 DC |
| | 猪原 透 | 関西学院大学 | 非常勤講師 |
| 研究所・センター構成員 計 37 名 (うち学内の若手研究者 計 5 名) | | | |

Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2022年3月31日時点)

| 1. 著書 | | | | | | | |
|-------|----|-----------|---------|------|----------------------|-----------|------|
| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称 | その他編者・著者名 | 担当頁数 |
| 1 | | | | | | | |

| 2. 論文 | | | | | | | | |
|-------|-------|--------------------------------|---------|----------|-------------------------------------|-----------|-------------|------|
| No. | 氏名 | 著書・論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行年月 | 発行所、発表雑誌、巻・号数 | その他編者・著者名 | 担当頁数 | 査読有無 |
| 1 | 半田侑子 | 「『日本文化の雑種性』の成立について | 単著 | 2021年12月 | 立命館大学人文科学研究所、『立命館大学人文科学研究所紀要』, 129号 | | pp. 161-200 | 有 |
| 2 | 鷺巣力 | なぜ『日本文学史序説』は書かれたのか | 単著 | 2022年3月 | 日仏会館、『日仏文化』 91号 | | pp. 71-87 | 無 |
| 3 | 小関素明 | 天皇制と「大東亜戦争」関与の精神構造- 負い目と擬態の精神史 | 単著 | 2021年12月 | 立命館大学人文科学研究所、『人文科学研究所紀要』, 129号 | | pp. 7-91. | 無 |
| 4 | 福間良明 | 安田武と「語り難さ」へのこだわり | 単著 | 2021年6月 | 筑摩書房 『戦争体験一九七〇年への遺書』 | | pp. 279-297 | 無 |
| 5 | 三浦信孝 | クローデル・日仏会館・渡邊守章 | 単著 | 2022年3月 | 日仏会館、『日仏文化』 91号 | | pp. 29-37 | 無 |
| 6 | 中尾麻伊香 | 「反核」「平和」と原爆被害をめぐる言説 | 単著 | 2022年1月 | 平和学会『平和研究』57号 | | pp. 57-79 | 有 |

| 3. 研究発表等 | | | | | |
|----------|------|---|---------|---|---------|
| No. | 氏名 | 発表題名 | 発表年月 | 発表会議名、開催場所 | その他発表者名 |
| 1 | 鷺巣力 | 「壮大な挑戦と平俗な蹉跎-加藤周一の見た横光利一」 | 2022年2月 | 横光利一文学研究会、立命館大学図書館カンファレンスルーム | |
| 2 | 加國尚志 | From World Philosophy to Wild Philosophy — Possibility of | 2021年6月 | “ What after Eurocentrism, Phenomenology and Intercultural Philosophy” 香港中文大学 | |

| | | | | | |
|---|------|--|---------|-------------------------------------|--|
| | | Intercultural Phenomenology after Eurocentrism | | | |
| 3 | 半田侑子 | 加藤周一にとって「日本文化の雑種性」とは何か | 2021年5月 | 『加藤周一を21世紀に引き継ぐために』合評会 立命館大学(オンライン) | |
| 4 | 半田侑子 | 『レトリックの戦場』と「青春ノート」 加藤周一おしゃべりの会/羊の談話室(仮称) | 2022年1月 | オンライン | |

4. 主催したシンポジウム・研究会等

| No. | 発表会議名 | 開催場所 | 発表年月 | 来場者数 | 共催機関名 |
|-----|------------------------|-----------------|----------|------------------|-------|
| 1 | 『加藤周一を21世紀に引き継ぐために』合評会 | 立命館大学(オンライン) | 2021年5月 | 約200名 | |
| 2 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年4月 | 約60名 | |
| 3 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年5月 | 約60名 | |
| 4 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年6月 | 約60名 | |
| 5 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年7月 | 約60名 | |
| 6 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年9月 | 約60名 | |
| 7 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年10月 | 約60名 | |
| 8 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年11月 | 約60名 | |
| 9 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年12月 | 約60名 | |
| 10 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2022年1月 | 約60名 | |
| 11 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2022年2月 | 約60名 | |
| 12 | 加藤周一文庫公開講読会『羊の歌』を読む | 立命館大学(対面+オンライン) | 2022年3月 | 約60名 | |
| 13 | 第5回加藤周一記念講演会 | 立命館大学(対面+オンライン) | 2021年7月 | 対面162名、オンライン282名 | |

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)

| No. | 氏名 | 研究業績名 | 発表場所等 | 研究期間 |
|-----|----|-------|-------|------|
| 1 | | | | |

6. 受賞学術賞

| No. | 氏名 | 授与機関名 | 受賞名 | タイトル | 受賞年月 |
|-----|----|-------|-----|------|------|
| 1 | | | | | 2 |

7. 科学研究費助成事業

| No. | 氏名 | 研究課題 | 研究種目 | 開始年月 | 終了年月 | 役割 |
|-----|-------|--|---------|---------|---------|----|
| 1 | 鷺巣 力 | 東北アジアにおける戦後日本思想——加藤周一、丸山眞男、竹内好、鶴見俊輔を軸として | 基盤研究(B) | 2020年4月 | 2023年3月 | 代表 |
| 2 | 加國 尚志 | メルロ＝ポンティの未刊草稿の研究 | 基盤研究(C) | 2019年4月 | 2022年3月 | 分担 |
| 3 | 小関 素明 | 終戦工作と戦後民主主義 | 基盤研究(C) | 2019年4月 | 2022年3月 | 代表 |

